

住友重機械ファインテック 金属くず回収装置

工作機械メーカーの住友重機械ファインテック（倉敷市玉島乙島）が製造する、機械加工で生じる金属の削りくずの回収装置「FINE MAG（ファインマグ）」シリーズの出荷数が、累計

で3万台を突破した。処理能力の高さや機種豊富さが支持され、販売開始から15年で国内シェアトップに成長。今後は海外販売も強化する方針で、さらなる事業拡大を目指す。

出荷累計3万台突破

高性能で機種豊富 国内シェア首位に



累計出荷数が3万台を突破した金属くず回収装置「FINE MAG」

装置は工作機械に取り付けるオプション機器。加工物の冷却用に吹き付ける液体を繰り返して使うため、液に混ざった金属くずを、磁石を内蔵したローラーで取り除く。同社の製品は磁石の配列など構造を工夫し、吸着が難

しい形の金属くずも回収できるなど高い性能を持つ。

2002年に開発。

緑を基調にした流線形の外觀や工場美化への貢献が評価され、その年のグッドデザイン賞を受賞した。多様なタイプの工作機械に対応

できるよう、液体の処理量が異なる10機種をラインアップ。15年には磁力を従来の2倍に高め、希少金属を含んだ超硬合金を回収できる業界初の新型機を投入した。

出荷販売数はこの10年間で倍増し、年3千

4千台。同様の機能を持つ装置で、国内シェアの約4割を占めるまでになった。

4月には営業部内に海外担当部門（3人）を設け、製造業の集積が進む中国や東南アジアの市場開拓に乗り出した。3年後をめぐりに生産台数を1・5倍に引き上げたい考え。

住友重機械ファインテックの松本信雄社長は「年々ブランド力がつき、今では工作機械の納入の際に名指しで求められることも増えた。製造現場の安定操業を支える機械として性能にこだわった製品を提供し続けたい」と話している。

（太田知二）